

福祉の仕事学んでます

加悦中1年生 2ヵ月間、感想を新聞に

1/7 京那 (阿味路)

車いすでマットを乗り越える体験をする生徒たち

(与謝野町・加悦中)



与謝野町の加悦中の1年生64人が、2ヵ月間、福祉の学習に取り組んでいる。車いすの介助やアイマスクをして歩く体験、施設を持ってもらう事業として、府が初めて企画し、府内の小中学校4校で進めている。

加悦中では、10月中旬、高齢化社会を学ぶ福祉の仕事に関心を

施設の職員を招いて仕事のやりがいを聞き、今月はお年寄りとの交流する際のレクリエーションを企画するなど現場実習に向けた準備をしている。学習は12月中旬まで計26時間行われる。

車いす体験では、生徒が2人1組になって乗る側と補助役を決め、声をかけながら、体育館に敷かれたマットやロープを乗り越える実習をした。糸井圭太君(13)は「乗る人は急に押されたりすると怖いことが分かった。施設では慎重に補助したい」と話していた。

このほか、アイマスクや手足の関節にバンドをして歩く体験もした。

(葦原裕)